

# 考える会通信

## 新交通システムで議論

### 利用しやすさが課題

10月16日、秋保市民センターにおいて「考える会」の第5回代表者会議が開かれました。今回も仙台市交通局からの参

加があり、全体で15名が参加しました。会議では12月に開催予定の秋保町民全体による会議（全体会\*2面組織イメー

ジ図参照）において、デマンド交通の基本構想を提示できるよう議論を、この提起を受け庶務・広報の青野さんからデマンド案が公表されまし

た（左囲み記事参照）これに対し、「幹線のバスダイヤ見直し等により、もっと利用しやすいものにするべき」、「バス空白地域のみでデマンド含む新交通形態を」、「デマンドにこだわらず、ループルのような形態では「運賃に問題はない

が検討を」、「乗合の場合の運賃案分をどうするのか」、「事業継続性は大丈夫か」、「協賛企業が現れるか」、「地域限定か、観光客への対応は」、「そもそもデマンドがどういうものか理解されるか」、「受け入れられるための方法の検討が必要」等の意見が出されました。

「企業に動きも」秋保の動きを注目している企業もあり、（株）トランの大泉氏が、トヨタ、アイ

シン精機との橋渡し役を申し出ています。すでに仙台市都市整備局への打診がはじまっており、今後の動きが注目されます。

「秋保地区の交通を考える会」  
発行責任者 庄子 敏明  
〒982-0241  
仙台市太白区秋保町湯元字枇杷原16-3  
TEL 398-2517



9月18日滝原交流センター第4回代表者会議 10月16日のものではありません

### デマンド交通のあり方（案）

#### ●基本的な考え方

①バス路線とデマンド交通の明確な棲み分けが必要。

②バスを日常的に利用する人（例えば通学児童）について、必要とされる路線・ダイヤの再考・充実化をはかる。

③バスを毎日利用しない人（通院・買い物・おでかけ・観光客）・・・デマンドタクシーを導入する。

#### ●デマンドのあり方・形態

①路線・ダイヤを定めず、注文がある場合のみ運行。

②誰でも利用可能。

③ドアからドアへのサービス。

④乗降地を秋保に限定。

⑤仙台中心部・長町等其他地域への移動者は、里センターに集約しバスと連結させる。

⑥地元タクシー事業者が協力して運行する

#### ●運賃と経費

①事業継続の必然性に鑑

み、運賃は東北運輸局の定めるメータ運賃とする。

②乗客の負担はメータ運賃の2割程度とし、更に軽減をはかるため、乗り合いを促進する。

③仙台市の「地域交通スタート支援事業」の目標収支率30%に鑑み、乗客負担2割の他、地元企業等から協賛を仰ぎその目標を10%とする。

④市営バスの減便調整で生じる原資と国の「地域公共交通確保維持改善事業」の予算220億円のうち必要経費分を獲得し残70%を補填する。

#### ●予約システム

①乗り合いをマッチングするためAIを活用したアプリを開発する。

②英語・スペイン語・中国語にも対応し、インバウンド対策をとる。

③操作が簡単で高齢者でも扱いやすいものとする。

④電話予約も可とする。

### 次回代表者会議のおしらせ

11月20日（水）  
10：00～  
秋保市民センター  
地域の方のご参加を  
お待ちしております



# 地域の新しい交通手段となるか

## デマンド交通

市バス路線から離れた地域の足をどう確保するか、この課題について、「考える会」ではデマンド交通導入の検討を進めています。デマンド交通とは、予約制の乗り合い型の交通シ

ステムです。全国の例を見ると、運営主体が自治体であったり社会福祉協議会、商工会であったりしますが、決められた時刻表や経路はなく、利用者それぞれが希望する乗車・降車場

所や時刻を指定して予約し、そのつど運行計画を修正しながら運行するのが特徴です。

乗車・降車場所をバス停に限定するか、完全にフリーにするのか、運賃負担、原資をどのように捻出するのか、バス赤字額が改善するのか、その他検討課題を解決していきます。

### 「考える会」これまでのあゆみ

「秋保地区の交通を考える会」は、地域の公共交通機関を充実させることを目的に結成された地域団体で

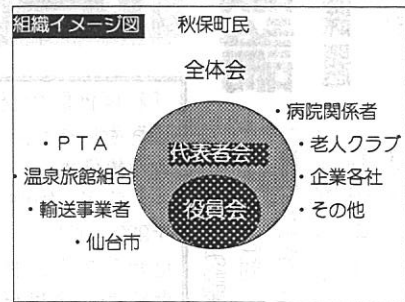
必ずしも住民の希望に添えていない現状が浮かび上がりました。特にバス路線から離れた地域では自家用車に頼る生活ですが、高齢者が多く、運転できなくなつた場合の代替手段を今のうちから講じる必要があることがはつきりしました。

基幹交通たる市バスの利便性を高め、路線から離れた地域へ新しい交通手段を導入するためには、行政に



第1回考える会代表者会議のようす 6月19日枇杷原町内会

前身の「考える会」では、昨年7月から8月にかけて市バス運行にかかっているアンケートを実施しました。その結果、市バス路線・ダイヤ



紙として、隔月配布します。住みよい街づくりのため、是非、皆様の声を下記名簿記載の方々や町内会長さんにお寄せください。

秋保地区の交通を考える会代表者会名簿

会長	秋保地区の交通を考える会	庄子 敏明		秋保中学校校長	千葉 慎
副会長	馬場連合町内会（滝原）	及川 純一		秋保中学校PTA	佐竹 康
副会長	秋保小学校区連合町内会（石神）	大場 拓俊		あきう幼稚園園長	峰岸 新造
副会長	湯元地区連合町内会（太夫）	湯目 昌幸		秋保地域包括支援センター（オブザーバー）	松山 史子
庶務広報	馬場小学校PTA副会長	佐藤 祐二		秋保地域包括支援センター（オブザーバー）	添田 拓三
庶務広報	（有）秋保交通	青野 邦彦		秋保総合支所総務課（オブザーバー）	槻田 良孝
会計	秋保小学校PTA会長	佐々木克真		秋保総合支所総務課（オブザーバー）	中野 耕也
監査	みやぎ商工会秋保支部長	岡崎 清治		都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 地域交通係 主幹兼係長	五十嵐 大
監査	秋保温泉旅館組合	佐藤 司		都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 地域交通係 主事	岡田 裕司
	馬場連合町内会（野尻）	佐藤 幸記		都市整備局総合交通政策部公共交通推進課 地域交通係 技師	加藤 湧夢
	秋保小学校区連合町内会（長袋町）	菅野 京子	アドバイザー	一般社団法人 計量計画研究所 研究本部都市地域・環境部門部門長	小島 浩